

もくじ

えび人 vol.22	02	情報	08
今号の表紙	03	市民の広場	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
第14回えびな健康マラソン		相談	13
大会 交通制限にご協力を	06	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期間 時間 場所 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝日を除く 休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ 2019対象

市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬  
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「平日8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



バランスを考えて書きました。  
 東柏ヶ谷小学校 長島樹里さん(11歳)

写真

タイトル：本郷のざる菊  
 撮影場所：本郷地区  
 撮影者：国分北在住  
 瀬山正紀さん



編集雑記

えび人の取材でのこと。自慢の囲炉裏を見せてもらうだけのはずが、家にあげていただくや否や手作りの棚や机などが次々と目に飛び込んできました。クオリティーの高さに心躍り、なかなか本題に入れず。国分寺台商店街のサロンにもその技が生かされています。旧店舗の面影を残したリフォームは、落ち着く空間でした。(あ)



“共助のできる街づくり、原点築く”

「国分寺台地域福祉協議会」は、市内で初めてできた地区社協です。共助の街づくりを目指し、高齢者の「お困りごと」のお手伝いや、「コミュニティ」の場づくりなど、市のモデル地区として活動してきました。行政の支援が入る前から地域福祉を実践してきた松岡さん。「福祉を自前で立ち上げてきたという自負があり原点は変わらない」と力強く語るの、これまでの活動と経験が血肉となっているから。

5年前には国分寺台商店街の豆腐店跡をみんなで改装して「いこいの場戸崎」をつくりました。商店街だから人が集まることを狙いましたが利用者はまだまだ少なく、「人集めは永遠の課題」と話します。巻き込みたいのはやはり子どもたちです。「イベントを通じて将来を担う彼ら同士の輪が広がり、向こう三軒両隣で解決できる地域になれば。今はこれができないから、僕たちがやっているだけだね」。この先も国分寺台に共助のまちが続くよう、今日も地域福祉の土台築きに励みます。



自宅の手作り囲炉裏。「いこいの場戸崎」一杯飲みた。



「いこいの場戸崎」で軽食会。アットホームな雰囲気大好評

今月のえび人

国分寺台  
 地域福祉協議会会長  
 松岡茂男さん  
 (国分寺台在住・73歳)

平成21年に誕生した国分寺台地区社協の会長歴9年。祭りの射的棚から街なかサロン「いこいの場戸崎」の改装まで趣味を超越した腕前で地域に貢献。